

★新たな決意★

マニフェスト・サイクル

の実現に向けて

昨年12月に行われた三芳町町長選挙で、大勢の住民の皆様方のご支援をいただき無事当選を果たすことができました。

当日の投票率は51.97%、得票数は8,039票でした。当選を果たすことはできましたが、337票差という僅差であったことを厳粛に受け止めていきたいと思えます。

地方分権が進む中で、自治体の努力の差がまちづくりの結果に現れる時代になりました。自治体間競争に勝ち抜いて行くには自治体の経営能力が問われてきます。それ故、選挙においても自治体の将来のビジョンや具体的な施策を提

示させていただきました。それなくして自治体の経営は成り立たないからです。

今回の選挙では、真の協働のまちづくりを目指し、『未来開拓43の宣言』をマニフェストとして掲げさせていただきました。マニフェストは「政権公約」「政策宣言」などと訳されていますが、その定義は「検証可能な具体的な政策を示した新たな公約」です。

現政権によってマニフェストの評価は落ちてしまいましたが、自治体経営の観点に立って、敢えて選挙戦ではマニフェストにこだわりませんでした。マニフェストは作って終わりではなく、大切なことは、どのように実行し、それを評価し、そして、その政策がどこまで進んでいるかを有権者の皆さんに情報公開し、説明責任を果たしていくこと

です。そうした住民力が活きる協働の町を目指していきます。

また、今回の選挙では、地方自治の精神に則り、特定の政党の支持は受けず、住民主役の町政を目指しました。これに多くの住民の

です。この「マニフェスト提示→実行→評価→説明、場合によっては改善」というマニフェストサイクルを実現していき、政治改革を行っていきたく考えています。

今年度から三芳町では、第4次総合振興計画の後期5年間でスタートします。前任者からの基本的な施策は継承しながらも、マニフェストを行政計画の中に落とし込み、事業として実施していきたく考えています。しかし、決してマニフェスト至上主義に陥いることなく、国や県の政策の動向や住民ニーズにも柔軟に対応していくことも求められると思います。

『未来開拓43の宣言』の中で3つの約束をしました。中でも第1の「住民とともにすすめる行財政改革」が緊急の課題であると考えています。厳しい財政状況下で、

皆さんが賛同してくれたものと思います。議員の議決権から首長の執行権に立場が移行しましたが、引き続き、特定の政党の支持は受けず、是々非々に町政運営を行っていきます。

三芳町議会は、昨年、議会改革を推進する中で議会基本条例、政治倫理条例を制定しました。執行部側においても町長、副町長、教育長等の特別職の政治倫理条例、そして職員のコンプライアンス（法令遵守）条例の制定も急務だと考えています。

就任は1月14日からです。就任後は、公務によって駅立ちや会報の発行は少なくなるかもしれませんが、多くの住民の皆さんと直接話ができ、顔の見える身近な首長でありたいと考えています。今後もしも忌憚ないご意見をお寄せいただけたら幸いです。



選挙長
三芳町長
初当選
林氏

「財政改革に全力」

民自公推薦の現職破る



任期満了に伴い三芳町長選挙の林氏（左）が初職の幹事として、新人で前副町長木本氏（中）と競選した。林氏は本町の議会で住民が主役のまちづくりを掲げ、財政改革に取組むことを公約し、自派を率いて当選した。就任は1月14日。

19日開票された三芳町長選挙で、民自公推薦の現職破る。林氏は、財政改革に取組むことを公約し、自派を率いて当選した。就任は1月14日。

林氏は「町の借金が増え続けている。5年後には1億円の借金を抱える」と危機感を訴え、財政改革に取組むことを公約し、自派を率いて当選した。就任は1月14日。

年末年始特別警戒
バイパス12号など特別警戒区
東入間川で日籠式

トカ14員、白バツ白、三

中国三誌読者の会

買収難を乗り越え、上海方面で
活況を博した中国経済の現状を
化防止

大緑

新聞記事より（12月21日：遠目での使用許可済み）